夏を楽しむ最北端の食マルシェ

東京稚内会　会長　小坂輝雄

最北端にある私たちのふるさと稚内では、数年前から8月の土・日曜日に、短い夏を楽しむ食の祭典「食マルシェ（フランス語で「市場」）」が行われています。

稚内の豊かな自然に育まれた農畜産物や水産物、これらを加工した「稚内ブランド」などを中心とした特産品が、大きな公園広場を囲むように特設したテントに並べられます。広場は市民をはじめ観光客で大賑わい、2日間の参加者が2万人以上になります。

おいしそうなお店は長蛇の列、特に圧巻は宗谷黒牛の丸焼きです。宗谷岬の丘陵に広がる牧場で育てられたおいしい黒牛一頭を丸ごと焼き上げるのですから、迫力満点です。他にも、焼きほたてや焼きたこ、黒牛ハンバーグや勇知いものコロッケ、稚内牛乳や白いカレーラーメン等々、稚内ならではの特産品がいっぱいです。

自然に恵まれた北海道はいろんな食材が豊富です。特に最北端の稚内は、海の幸、山の幸に恵まれています。地方創生の時代、この新鮮な食材を消費地の首都圏にどのように流通させるかが問われています。

生産者であるふるさとの人たちと消費者であり首都圏で生活する私たちが、お互いに知恵を出し合うことで、すばらしいアイデアが生まれ、ふるさとで頑張っている人たちを励ますことが出来るのではないでしょうか。

これからも、わたしたちの「ふるさと」を応援しましょう！

親睦ゴルフの変遷

東京常呂会　会長　馬渕照男

東京常呂会では毎年一回の割合で親睦ゴルフ会を開催しており、今年5月には、第十回の記念大会を千葉県の南総カントリークラブで開催いたしました。このゴルフ会には、東京北見会の方々も毎回参加しており、今では欠くことのできないパートナーとなっております。

実は、東京北見会には『オホーツク会』という歴史ある親睦ゴルフ会があります。開催回数も二〇〇回近くに達し、各地の名門ゴルフ倶楽部でプレーを楽しまれております。常呂会の会員も時々参加させていただいておりましたが、開催日が平日という事もあって、なかなか若手にとってはスケジュール調整が難しく、だんだん疎遠になってしまいました。

それでも、皆でゴルフを楽しみたいという若手の声に押され、東京常呂会として、土日に開催するゴルフ会を立ち上げたのです。お蔭様で、毎回4から5組のメンバーが集まり、今年で一〇回を重ねるまで根付いてまいりました。今後は、毎年2月に開催している『北見市ふるさと会親睦ボウリング大会』のように、東京北見会さんはもちろん、在京端野会さん、東京るべしべ会さんにも声を掛け、北見市を構成するふるさと会のゴルフ会としての発展を図ろうと考えているところです。

NIPPON-HAM FIGHTERS HOKKAIDO

シーズン通しての変わらぬご声援
ありがとうございました。
来シーズンも北海道の皆様と共に
戦ってまいります。暖かいご声援を
宜しくお願いいたします。

北海道日本ハムファイターズ

HOKKAIDO PRIDE
北海道の誇りを胸に